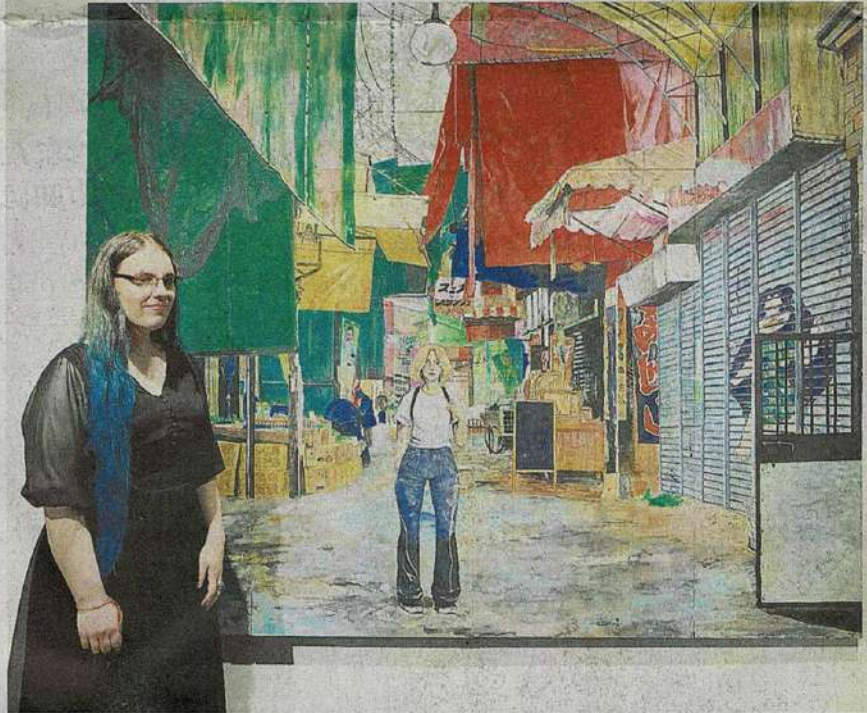


日本画学んだ留学生 成果展

熊本市 崇城大のクララさん



「水の精霊」と子飼商店街を組み合わせた日本画と並ぶ
クララ・ルイゼ・ベルンハルドさん＝熊本市中央区

2023年7月6日 熊本日日新聞 P.19

崇城大芸術学部で日本画を学ぶ独バウハウス大のクララ・ルイゼ・ベルンハルドさん(25)の成果展「7」が4日、熊本市中央区のS

を持ち、2015〜16年に尚綱高に留学。バウハウス大と交流がある崇城大で日本画を学ぶため、22年に再び来熊した。

示。足形の磁器に水を張った作品は、いつも足元がぬれているという精霊をイメージして制作した。
自然由来の画材で、ゆっ

OJO GALLERYで始まった。世界をめぐる水をテーマに、ドイツと日本をつなぐポスターレスな作品が並ぶ。16日まで。

今秋の帰国を前に展覧会を企画。美しい花だけでなく水面下の廃棄物も描いたびょうぶをはじめ、両国に共通する「水の精霊」をモチーフにした日本画や映像

くりと時間をかけて描く日本画の魅力について「手作りしている感覚が強くて好き」とクララさん。「ドイツに帰ってからも続けていきたい」と話している。

画に魅了されて日本に興味

インスタレーションを展

(澤本麻里子)